

## 令和5年度第2回瀬戸市水道事業経営審議会 結果

1 開催日時	令和5年10月27日(金) 午後2時57分から午後4時27分まで
2 会場	瀬戸市役所 北庁舎4階 庁議室
3 出席者	委員 6名 愛知工業大学 教授(会長)、中京大学 准教授(副会長) 瀬戸市自治連合会 会長、瀬戸市社会福祉協議会 会長、 瀬戸商工会議所女性会 会長、瀬戸消費生活クラブ生活学校 会長 事務局 5名 都市整備部長、水道課長、水道課課長補佐、水道課専門員兼工務係長、 水道課管理係長
4 欠席者	なし
5 議事	(1)令和4年度決算の内容分析について (2)経営戦略見直しに係る課題検証事項について (3)経営戦略投資財政計画改定案について
6 その他	なし
7 委員からの意見及び質問、それに対する回答	<p>■「議事(1)令和4年度決算の内容分析について」</p> <p>[費用別の増減理由]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度の動力費は、電気料金の値上げだけで前年度から1.5倍ほど増加したものなのか。 →電気を使用する施設数に変動はなく、電気料金の値上げが理由となる。(事務局)</li> <li>・修繕費の増加は、工事量の増加と物価高騰が理由とされるが今年度の状況はいかがか。 →令和4年度の同時期と比べ、8割程度の執行率であるが、費用は1.5倍ほどとなっている。緊急修繕の件数だけでなく、人件費単価も増加している。(事務局)</li> <li>・今後の見込として、人件費が下がることは難しいと思うが、材料費はどうか。 →コロナ禍からの経過を見る限り、材料費も下がることは考えづらい。(事務局)</li> </ul> <p>[経営戦略との整合性]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営戦略には「赤字となった場合には、直ちに検討する」とあるが、赤字とならなくても料金改定の必要性を検証するために、検討開始の基準を変更することが望ましい。 →今年度中に経営戦略の改定を予定しており、提案いただいた意見を含めた改定案を作成する。(事務局)</li> </ul> <p>[料金改定検討の必要性] 会長から委員への確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営審議会として、令和4年度の赤字は、その要因が一時的なものではないものであり、経営戦略に記された料金改定の検討を要する状況であるものとしてよいか。 →「異議なし」との確認。 →次回の審議会で料金改定に関する諮問を行うこととする。(事務局)</li> </ul> <p>■「議事(2)経営戦略見直しに係る課題検証事項について」</p> <p>[県営水道用水(県水)値上げ検討]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県水が令和8年度に段階的値上げが完了した後はどうなるのか。 →料金算定期間である4年間を経過した後、値上げを検討する可能性はあるものと思われる。(事務局)</li> <li>・県水値上げがされた場合における瀬戸市への影響額は、どのように算定したのか。 →給水人口増減に伴う水量の増減を元に算定している。(事務局)</li> </ul>

・自己水が供給できなくなった事情が発生した場合、県水を利用し、滞りなく給水することはできるのか。

→給配水施設は整っているため、給水することは可能であるが、数日間の準備期間が必要となる。(事務局)

#### [施設更新に必要な人員数]

・労務職は直営にすることのメリットとして、コスト低減や業務遂行の円滑化といったものがあるがいかがか。

→コスト低減と業務遂行円滑化の両方ともが該当する。(事務局)

### ■「議事(3)経営戦略投資財政計画改定案について」

#### [経営戦略に掲載する案として4パターン提示]

・D案(内部留保が「3条費用—非現金支出以上」)について説明してほしい。

→1年に必要な費用を内部留保として確保する案であり、言い換えると、1年間収入がなくても日々の運営ができる金額を確保するもの。(事務局)

・全パターン令和8年4月に料金改定を要する記載となっているが、その時期まで改定する必要はないのか。また、各パターンに記された改定率を一度に上げる必要があるのか。

→今回、提示した投資財政計画改定案は、水道事業が必要とする資金の確保を目的に作成したものである。改定期や改定率は料金改定することが決定してから議論する予定。(事務局)

・仮にいずれかの案を採択した場合、現行の経営戦略に記載されている基準も見直すという理解で良いか。

→お見込みのとおり。一連の議論で経営戦略に記載する基準を決めることになれば、毎年度、数値を更新したシミュレーションを行い、審議会で議論を進めていくことを考えている。(事務局)

・どのパターンが正解ということは言えないが、D案の「事業に必要な現金を確保する」という視点は分かりやすいと思う。

・経営審議会として、D案を経営戦略に掲載する投資財政計画改定案とすることとしてよいか伺う。(会長から委員に対して)

→「異議なし」との確認。

→次回の審議会で財政投資計画案を含めた経営戦略改定案を提示することとする。(事務局)

### 8 次回以降の進め方と日程

・水道料金改定に関する諮問に基づく議論、財政投資計画を含めた経営戦略見直しの議論を進める。

・次回の開催は令和6年2月16日(金)を予定。

以上